

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2020.06.30

京大病院医療安全情報 124

【 抗菌薬初回投与時のリスク認識が重要です 】

【 事例 】

当日2例目に手術予定の入院患者。手術開始前60分以内に抗生剤投与開始する指示があり開始した。投与はじめた際に、血管造影室から出棟するよう連絡が入った。抗生剤点滴初回投与に対して5分間付き添いのできていない状況であった。

患者を引き継いだフリー看護師が搬送していたところ、担当医と合流し一緒に搬送していた。病院1階で腹痛出現したため抗生剤点滴中止し、担当医と共にそのままアンギオ室へ搬送。

血圧の低下とSpO₂の低下あり、アドレナリン0.3mg筋注などの急変対応処置が行われた。状態が安定した約1時間後に、アンギオ室から病棟へ帰室。

搬送中にアナフィラキシー出現！
救急カートもない！

どうすればよかったの？



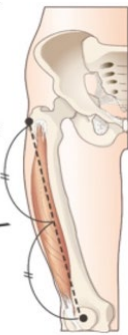
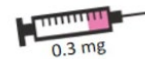
京大病院医療安全情報124

アナフィラキシー発症の危険性が高い薬剤（今回は抗生剤初回投与だった）を開始した直後は、注意深い観察が必要です。検査・処置など呼出があった場合も、慌てず優先順位について考え、出棟する時間を遅らせましょう。

薬剤開始直後



ためらわず
アドレナリン0.3 mg
筋肉内注射



急変対応が必要な状況になるかも・・・
5分間様子を見てから移動準備を開始しよう

※ 今回は呼出による出棟であり、5分程度であれば出先への連絡は不要と考えます

5分後

問題なしを確認後出発



アレルギー出現など有症状ありの場合



すぐに出棟できない状況です
改めて連絡します



※ 今回は血管造影室でしたが、
外来受診・他検査時も患者の安全確保を優先してください